

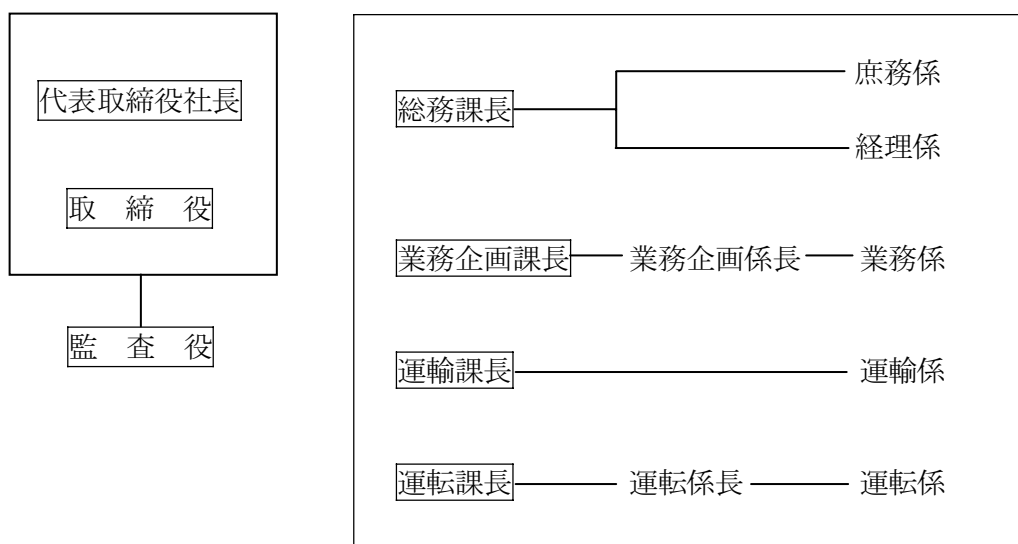
帆柱ケーブル株式会社

帆柱ケーブル株式会社は、鉄道事業法に基づく鋼索鉄道（ケーブル）事業等を営んでいます。

| | |
|-----------|--|
| 〔設 立〕 | 昭和 32 年 3 月 1 日 |
| 〔所 在 地〕 | 北九州市八幡東区大字尾倉 1481 番地の 1 Tel 093-671-4761 |
| 〔目 的〕 | 市の観光資源である自然と夜景が楽しめる皿倉山頂エリアへの交通手段の提供。 |
| 〔事 業〕 | 鋼索鉄道（ケーブル）事業、その他の事業 |
| 〔資 本 金〕 | 1,683,000 千円 ＜うち本市出資額 1,683,000 千円（100.0%）＞ |
| 〔決 算 期〕 | 毎年 3 月 31 日 |
| 〔主 務 官 庁〕 | 国土交通省九州運輸局 |
| 〔本 市 所 管〕 | 産業経済局商業・観光部観光課（Tel 093-582-2054） |

1 法人の組織

(1) 機構図



(2) 役職員数

| | 人数 | 人数の内訳 | | | 平均年齢 |
|----|------|---------|---------|-------|------|
| | | うち本市出向者 | うち本市退職者 | うちその他 | |
| 役員 | 12 人 | 10 人 | 1 人 | 1 人 | 58 歳 |
| 職員 | 10 人 | 0 人 | 1 人 | 9 人 | 53 歳 |

(3) 役員名

〔代表取締役〕 宮脇 春吉

〔取締役〕 山口 彰、古賀 友一郎、小村 洋一、片山 憲一、宮野前 敏雄、
奥竹 繁、南 政昭、柏木 修

〔監査役〕 奥 鶴雄、江本 均、南 健一

2 事業の概要等

(1) 鋼索鉄道（ケーブル）

- ① 安全輸送の確保及び快適な輸送を中心としたサービスの提供
- ② 観光振興事業（自主企画イベント）の展開
- ③ 観光客誘致のための広報活動

(2) その他の事業

- ① スロープカーの運行
- ② 皿倉山頂展望台の管理運営

3 主な事業実績（平成19年度）

(1) 利用状況について

① 鋼索鉄道

ケーブルカーは、土・日・祝日及び夏休み期間（7月20日～8月31日）に運行時間を午後9時まで延長して、夜景を楽しめるよう夜間運行を実施しました。

さらに、JR八幡駅とケーブル山麓駅を結ぶ無料シャトルバスを金・土・日曜・祝日、ゴールデンウィーク期間（4月29日～5月7日）及び夏休み期間（7月20日～8月31日）に運行しました。

利用者増加に向けた事業として、前年度に引き続き、「皿倉桜まつり」、「皿倉こどもまつり」、「七夕まつり」、「皿倉灯籠まつり」、「皿倉紅葉まつり」などのイベントを開催、定例のイベントとして「さらくら森のがっこう」や「皿倉観望会」を毎月実施しました。

また、帆柱ケーブルの開業50周年イベント「帆柱ケーブル50周年記念写真展」や皿倉山頂展望台のオープン記念イベント「ホリデーライブin皿倉」を開催し、皿倉山頂エリアの賑いづくりとケーブルカーの利用者増加に努めました。

輸送人員は、スロープカーの運行開始や山頂展望台オープンの効果により、150,979人（前期比14.8%増）となりました。

営業収益は、72,212千円（前期比1.3%増）となりました。

② その他の事業

平成19年12月28日より皿倉山スロープカーの運行と、皿倉山頂展望台の管理運営業務を開始しました。平成19年12月28日から平成20年3月31日までの間、スロープカー料金を開業記念特別料金（通常料金の半額）としました。

輸送人員は、42,765人となりました。

営業収益は、8,181千円となりました。

4 市の関与の状況

(単位：千円)

| 区 分 | 平成18年度 | 平成19年度 |
|-------------|-----------|-----------|
| 出 資 金 の 状 況 | 1,683,000 | 1,683,000 |
| 補 助 金 | 0 | 0 |
| 委 託 料 | 21,737 | 26,660 |
| 貸 付 金 残 高 | 94,449 | 94,449 |

5 資産・収支の状況（平成19年度決算）

(1) 貸借対照表

平成20年3月31日現在（単位：円）

| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
|--------------------|--------------------|------------------------|--------------------|
| （ 資 産 の 部 ） | | （ 負 債 の 部 ） | |
| 流 動 資 産 | 64,072,021 | 流 動 負 債 | 13,240,070 |
| 現金及び預金 | 29,360,113 | 買掛金 | 22,050 |
| 未収運賃 | 243,900 | 仮受金 | 24,624 |
| 未収収益 | 3,058,180 | 未払費用 | 7,690,426 |
| 商 品 | 2,606,473 | 未払法人税等 | 2,715,000 |
| 貯 蔵 品 | 28,642,680 | 未払消費税等 | 1,326,900 |
| 前払費用 | 160,675 | 預り金 | 205,070 |
| | | 賞与引当金 | 1,256,000 |
| 固 定 資 産 | 62,285,340 | | |
| 鋼索鉄道事業固定資産 | 62,212,270 | 固 定 負 債 | 103,898,694 |
| 投資その他の資産 | 73,070 | 長期借入金 | 94,448,994 |
| 出 資 金 | 10,000 | 退職給付引当金 | 9,449,700 |
| 長期前払費用 | 63,070 | | |
| | | 負 債 合 計 | 117,138,764 |
| | | （ 純 資 産 の 部 ） | |
| | | 株 主 資 本 | 9,218,597 |
| | | 資 本 金 | 1,683,000,000 |
| | | 利 益 剰 余 金 | ▲1,673,781,403 |
| | | その他利益剰余金 | ▲1,673,781,403 |
| | | 繰越利益剰余金 | ▲1,673,781,403 |
| | | 純 資 産 合 計 | 9,218,597 |
| 資 産 合 計 | 126,357,361 | 負 債 ・ 純 資 産 合 計 | 126,357,361 |

(2) 損益計算書

自 平成 19 年 4 月 1 日
至 平成 20 年 3 月 31 日 (単位：円)

| 科 目 | 金 額 | |
|-----------------------|-------------|------------|
| 鋼 索 鉄 道 事 業 | | |
| 営 業 収 益 | 72,212,023 | |
| 営 業 費 | 118,114,014 | |
| 営 業 損 失 | | 45,901,991 |
| そ の 他 事 業 | | |
| 営 業 収 益 | 8,180,777 | |
| 営 業 費 | 7,909,542 | |
| 営 業 利 益 | | 271,235 |
| 全 事 業 営 業 損 失 | | 45,630,756 |
| 営 業 外 収 益 | | 1,926,202 |
| 受 取 利 息 及 び 配 当 金 | 400 | |
| 雑 収 入 | 1,925,802 | |
| 営 業 外 費 用 | | 336,664 |
| 支 払 利 息 | 330,570 | |
| 雑 損 失 | 6,094 | |
| 経 常 損 失 | | 44,041,218 |
| 特 別 利 益 | | 18,417,900 |
| 工 作 物 移 転 補 償 金 | 18,417,900 | |
| 特 別 損 失 | | 1,490 |
| 固 定 資 産 除 去 損 | 1,490 | |
| 税 引 前 当 期 純 損 失 | | 25,624,808 |
| 法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税 | | 1,032,000 |
| 当 期 純 損 失 | | 26,656,808 |